

秋 歯 技

発行
No.73
2023年2月1日

一般社団法人
秋 田 県
歯 科 技 工 士 会
広 報 部

年頭のごあいさつ

会長 今野

悟



新年あけ
ましておめ
でようござ
います。

会員の皆

様におかれましては、穏やかな新年を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

相変わらずのコロナ禍で、オミクロン株が猛威を振るい、本県においても新規感染者が高止まりの状況ではありますが、行動制限が緩和されている分、思い思いの正月休みを過ごせたのではないかと思います。

依然、状況によってマスク・検温・消毒は義務付けられています

が、春にはインフルエンザと同じ五類扱いになるとのこと、そうなればもう少し世の中の動きが良くなると思われまます。

さて、昨年を振り返りますと、一番大きく世界を巻き込んだのは、二月に始まったロシア軍のウクライナ侵攻ではないでしょうか？そのために原油や穀物の供給の滞りによる価格の高騰、そして光熱費、食品、様々な身の回りの商品が値上がり、家計の負担が増加しています。

私達の仕事に関しても、パラジウム合金の価格には驚かされます。今もなお、様々な歯科材料の値上がりが続いているのに、技工

料は変わらず経費ばかりがかさんでいる状態です。また、日本とアメリカの金融政策の違いで円を売ってドルを買う動きが大きくなり、これも物価高に拍車をかける要因であります。金利を上げると、さらに景気が悪くなるとの立場でいた日銀の黒田総裁も金利を上げる方向を示したことを、つい最近のニュースで言っていました。「どうなるんだらう日本」我々じゃあよく分かりません。

そんな中、面白い話題はやはりスポーツです。甲子園では初めて白河の関を超え東北に深紅の優勝旗がもたらされたこと、サッカーワールドカップで日本が輝かしい活躍をみせてくれたこと、井上尚弥が世界四団体統一王者となったこと等、いつも私達を元気にしてくれます。三月にはWBCがあります。大いに期待して盛り上がりましょう！

コロナ禍において、主流となりましたリモートでの会議や様々な研修会は、ハイブリッドという形でこれからも続けていくことになると思いますが、対面での行事、例えば三年間中止となった大森山動物園での技工フェア、北東北三

県による野球大会など、行う事ができたらいいなと思っております。

今年の十月からは、インボイス制度が導入され、私達もまた厳しい選択を迫られるところであります。皆様の声を会に反映させていきたいと思っておりますので、ご連絡をいただけると幸いです。

歯科界にとって素晴らしい年になりますことと皆様のご健勝をお祈りして新年の挨拶といたします。



感染症予防歯科技工士講習会報告

2022年10月16日(日)、秋
田県JAビルにおいて、会員なら
びに歯科関係者への感染に関する
啓発を目的に、日本歯科医師会と
日本歯科技工士会が共催する「感
染症予防歯科技工士講習会」が開
催されました。

当日の受講者数は、歯科技工士
21名、歯科医師2名、歯科衛生士
1名、歯科衛生士学生1名の総数
25名(we b参加10名)。感染対
策をし対面とオンライン併せての
実施。当県での本講習会は、15年
ぶりの開催となりました。

オンラインによる第一部では、
口腔内微生物の第一人者である奥
田克爾先生に、「歯科技工におけ
る感染症対策」病原微生物の基
礎知識」という演題のご講演を
いただきました。

講演は、最も基本的な「細菌と
ウイルスの違い」から始まり、歯
科に関係がある感染症の病気の進
行、業務上での感染防止に至るま
でを分かりやすくご教示ください

ました。

また、補綴装置を製作するにあ
たり、プラークが付着しにくい形
状の重要性についての示唆をいた
だきました。

ご講演は、「スタンダードプリ
コーション」すなわち「すべてが
感染症例であると仮定した感染対
策」が如何に重要であるかを強く
認識するものであったと言いま
す。

第二部は、大西正和先生より「補
綴領域における感染の考え方とそ
の対策」Withコロナにおけ
る新しい技工様式」との演題の
対面講演をいただきました。

コロナ禍であっても感染症全般
を見渡し、歯科に係る多くの感染
症の予防には何を重要視すべき
か、どのような対策が有効かを、
各種ウイルスの消毒薬に対する耐
性などのデータを示して解説され
ました。「Withコロナには、
どのような対策が歯科技工業務を
踏まえると現実的であるのか」を

参加者自身が考えさせられたこと
で、具体的なイメージに繋がりが
ました。明日からできること、意識
できることについての多くの示唆
がありました。

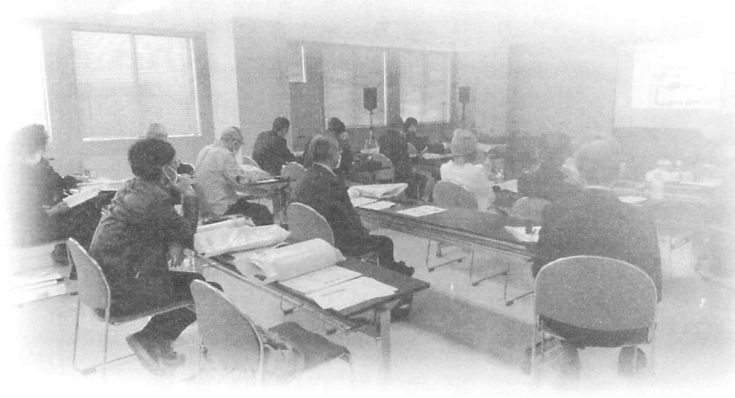
「スタンダードプリコーション」
の重要性とともに、「ZONE」
という概念をご教示いただきまし
た。「ZONE」つまり「汚染を
封じこめるための仮想空間」を設
定することで効率的な感染対策が
実施できるとのことです。

また、「危険性のあるものは相
手に渡すときは相手の安全に配慮
する」という考え方も強く印象に
残りました。



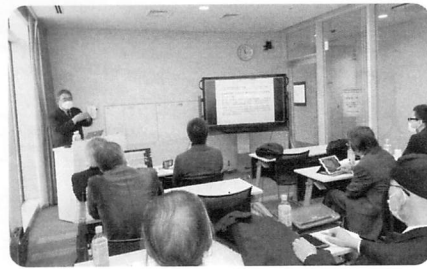
全国各県で毎年開催される本講
習会は、微生物や感染症予防の基
礎知識を学ぶ貴重な機会であり、
これらを日常の技工作業に活用す
ることで患者様と歯科医療全体の
安全を確保できます。したがって、
本講習会は、今後も継続すべき有
用な事業であると確信いたしまし
た。

(学術担当理事 青野耕士)



生涯研修

『佐藤幸司先生による
生涯研修に参加して』



2022年2月27日
(日) 秋田市にぎわい交流館AUにて佐藤幸司先生を迎えて研修が行われました。

コロナ禍

の研修スタイルは対面のないリモート方式が主流で行われておりましたが、今回はzoomによるリモート参加と現地での対面参加による初のハイブリッド形式による研修会でした。

久々に先生や会員の方々と顔を合わせながらの研修でしたので皆さんにお会いできたことを嬉しく思いました。人との繋がりがあつての会なんだなと改めて確認出来ました。

秋田にも何度か来てくださっている佐藤先生の義歯の講習はお話

が分かりやすく時間が過ぎるのを忘れてしまうほど楽しめた内容でした。

有歯顎補綴の様々な症例に対して適切な判断を施す上で無歯顎の知識は必要不可欠ですので多くの引き出しを持つ上で講習会への参加をお勧めします。

先生はお人柄も良くスライドでは若い生徒さん方にも愛されながら楽しんでおられる様子も伺えました。

講習内容は勉強不足の私にとって明日からの臨床に役立てることが出来、基本に立ち返り自分の知識を再確認する事ができました。

午前の部、午後の部の会食の時でも皆にお声がけして、以前お会いした時のことも覚えていただきありがたい時間を過ごさせていただけよう皆さんでお待ちしましょう。
(荒川大祐)



種苗交換会

10/29~11/4

第145回種苗交換会が大仙市で開催され、10/30と11/3の手型採りに参加させて頂きました。コロナ禍と天気に恵まれない中での開催でしたので、お客さんが来るかどうか心配していたのですが、2日間で77人の手型採りを行う事が出来ました。他の支部の方々も含め2日間でのべ21人の会員が参加してくれました。お手伝い有難うございました。

高齢の方からは、義歯の相談もあり、対応に苦慮するような質問もあり、患者さんの立場の方と直接触れ合う貴重な機会ともなりました。

石膏人形や景品の消しゴムも好評で、あつという間になくなりました。



ただ、私個人の恒例(?)となっていた他ブースでのカレンダー作りを忘れていました。残念
(佐々木修)

第63回東北ブロック会議福島会議報告

日時 令和4年10月8日(土)
PM3:00

出席者

各県の会長他3役と日技
会長・森野隆、連盟会長・
奥村英世、日技幹事・伊
集院氏が出席。本県から
今野悟会長、佐藤仁副会
長、渡辺倫史専務が出席。

各県からの議題と参考意見と 取り組み

- ① イベントの参加者が減少している
るので困っている。
- ② コロナ禍における研修会の開催
について。
- 学術研修をズームと会場のハ
イブリッド型で対応する。
- 講師との打ち合わせを密にし
て不慣れなズーム研修で起こ
る問題を極力少なくするため
に事前に備える。
- ③ 組織の強化策
- 学術担当を強化し講師を選ぶ。
- 卒後研修を開催する。
- ◎ 宮城県での実例
基礎講習会を開き、会員の
育成をしている。講習会の実
績を積んで、県の補助制度を

利用している。集め方として、
パンフレットを作成し歯科医
院へ配布。会費は、はじめは
無料であったが現在は有料
(12,000円/6か月)
これは、秋田県でも制度があ
れば参考にし実現したい。

- ④ 委託歯科技工業の直接請求について
● 伊集院日技幹事からの現状説
明に伴い、日技会長・森野 隆
氏より、メリット・デメリット
を鑑みながらまとめて行きたい
との意見。
- ⑤ 災害時の支援
● 災害時の支援として見舞支援
金の助成をする。
- ⑥ 歯科技工士の職業としてのア
ピール
- 高校生宛のリーフレット、パ
ンフレットを作成し高校へ配
布。
- 技工体験動画を作成して高校
生に職業説明する。
- イベントの開催を3歯会で開
催し協力しあう。

以上の議題で協議がなされまし
た。(佐藤 仁)

役員紹介

令和4年度総会にて役員が選出
されました。新しい役員も加わり、
気持ち新たに会務に取り組みんで
おります。どうぞよろしくお願
いいたします。

| | |
|------|--------------|
| 会 長 | 今野 悟 |
| 副会長 | 酒 樹 栄 |
| 〃 | 佐藤 仁(広報担当) |
| 専務理事 | 渡辺 倫史 |
| 常務理事 | 佐々木順也(会計担当) |
| 〃 | ★青野 耕士(学術担当) |
| 〃 | 佐藤 雄貴(企画担当) |
| 理 事 | 高橋 和文(組織担当) |
| 〃 | 富樫 正行(〃) |
| 〃 | ★斎藤 健司(〃) |
| 〃 | 佐藤 仁美(〃) |
| 監 事 | 細田 武彦 |
| 〃 | 杉山 隆 |

(外部監事・税理士)

★印のかたが新任です

新役員より

明けましておめでとうございま
す。初めまして、昨年、秋田県歯
科技工士の理事に就任させてい

いただきました斎藤健司と申しま
す。

能代市で dental.studio 健とい
う歯科技工所を開業しております。
今年で開業23年になります。
主に、補綴専門に技工をさせてい
ただいております。

「(patient satisfaction)すべて
の技術は患者様満足度のために」
の信念のもと、日々技術の向上と
研鑽に努めております。

昨年末に、広報の原稿をお願い
します、と突然メールが届き、何
をお伝えしたらいいか熟考しまし
て新年発行の原稿という事でした
ので、とりあえずスマホで、いろ
いろググってみました。まずは歯
科医療の将来をタップしてみまし
た。

- 1, CAD/CAMをはじめとする
デジタル化が急速に発達する。
- 2, 新素材の開発も次々と行われ
る。
- 3, 歯科医師の過剰の一方で歯科
技工士のなりてが少なくな
る。

20代の歯科技工士の激減。な
どなど…。

ありきたりの内容ばかり。
やはり、歯科技工士業界を取り



dental-studio-ken-QR

巻く環境は刻々と変化し新卒歯科
技工士の減少、働き方改革への対
応、熟練歯科技工士の高齢者、C
AD/CAM装着の急速発展な
ど、あげればきりがありません。

更に、色々ググっていくと、今
回法令改正に伴い、2022年4
月より「リモートワークによる歯
科補綴物の設計が条件付きで可能
になる」とありました。これに関
しては、様々な意見などあると思
います。今後の歯科界のデジタ
ル化が急速発展していく事を考え
ると、新しい形の歯科技工士フ
ローになり、少しでも人手不足の
解決にメリットがあるように思い
ました。完全なリモートワークで
はなく是非でのリモートワーク
には意味がある改正の様に思い
ました。

しかしながら、まだまだ多くの
問題が山積しております。
今後、様々な問題を考えつつ、患
者様の笑顔に会えるよう、日々研
鑽し続けたいと思います。

(齋藤健司)



岩澤毅氏を偲んで



岩澤 毅氏

◆秋齒技 会長より

昨年十月十九日に、会員の岩澤
毅氏が死去いたしました。秋田県
歯科医療専門学校を卒業し、秋田
市内の歯科技工所に勤務し、平成
二十二年にみなと矯正義歯工房を
土崎に開業しました。

技工士会での経歴は、平成十六
年に県技理事、二十年には専務理
事に就任しました。そして二十三
年からは日技に活躍の場を移し、
理事・常務理事、さらにその間日
技連盟の常任総務理事、副理事長
などを、令和二年まで務められま
した。また、法律や規約などに詳
しく、日技認定講師として各地に
赴き、基本研修の教養課程分野で
他県技も含めた会員の知識を深め
てくれました。

平成二十七年に開催された日技
六十周年記念式典においては日技
推薦で厚生労働大臣表彰も受賞さ
れました。

その傍ら文筆活動にも積極的で、
魁新報、日本歯科新聞等に数多く
投稿し、提言・苦言を呈し、高い
評価を得ていました。本会にもよ
き相談相手として公私ともに付き
合いをさせていただきました。

昭和三十五年生まれで自分と同
じ六十二歳、このご時世お見舞い
には行くことができなかったにせ
よ誰にも知らせずに一人で病室で
亡くなったと思うと、何故教えて
くれなかったという憤りと悲しみ
でいっぱいです。

ありがとうございます。
心よりご冥福をお祈りいたしま
す。

(今野 悟)

◆HP担当より

昨年、日本歯科技工士会認定講
師でもある岩澤毅さんが亡くなら
れました。この場をお借りして謹

んで御冥福をお祈りします。
岩澤さんは先代のホームページ
係であり、私をホームページ係に
推薦して下さった方でした。

ホームページ開設にあたりこま
めに連絡を取り合い、いろいろ話
し合いましたが、結局全てお任せ
という形で引き受けました。

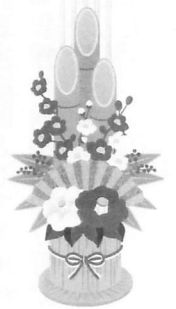
岩澤さんはとても勉強熱心な方
で先代のホームページには活字が
びっしりで使える情報も多く、自
分に務まるのかとプレッシャーに
押し潰されながら行っていた事を
思い出します。

岩澤さんとのいろいろな思い出
を胸に、自分なりにホームページ
担当を続けていこうと思います。
これからも皆さんに見ていただ
けるように頑張りますのでよろし
くお願いします。

(荒川大祐)



支 部 だ よ り



【中央支部】

明けましておめでとうございませう。令和4年中央支部の活動報告です。

県の事業であります献血ボランティアが、2月20日イオンモール大曲で行われました。

支部から5名参加し、ティッシュ配り、献血への声かけをしてきました。

大仙市で開催された種苗交換会



へは10月31日に5名、11月3日に4名で参加してきました。

そして3年ぶりの忘年会を12月3日、居酒屋たみすけで行いました。参加人数は8名という少人数でしたが久しぶりに飲み会ができた良かったと思います。

年々行事に参加される会員も同じ顔ぶれに定着してきてしまい残念ですが、今年は行動制限もなく活動再開できると思いますので何かやりたい、やってもらいたい事がありました

ら中央支部の方へ連絡して頂けたらと思います。

それでは今年もよろしくお願ひします。

(高橋和文)



献血ボランティアの報告

◎献血ボランティア

当日の献血者 61名

◎献血ボランティアに

参加した会員 10名

※献血する方が多く、秋田県赤十字社の担当者から「予定以上に集まったので、もう呼びかけは結構です。」と言われるほどでした！人の心の温かさを感じた一日でした。



【県南支部】

明けましておめでとうございませう。昨年を振り返って、考えられない事故、コロナ禍、ウクライナ情勢に端を発した物価高騰、円安、仕事上でも金属材料が値上がり、技工料には転嫁できない酷い1年だった気がします。憤りを感じながら「仕方がない、なる様にはかならない」完全に平和ボケしている訳です。

そんな中、3年ぶりのイベントも多く、大曲の花火も開催されました。残念ながら天候に恵まれず煙で何も見えない音だけの花火を初めて経験しました。ぼやきが多い1年でしたが、最期にワールドカップで盛り上げてくれました。やはりスポーツはいいですね。楽しみにしていた映画も割引対象年齢でいっぱい見ることができました(笑)

今年こそ良い年でありますように、みなさん健康第一で頑張りましょう。宜しくお願ひ致します。

(富樫正行)

【本荘由利支部】

「デジタルとアナログ」

あけましておめでとうございませう。会員の皆様には、良い年をお迎えのことと存じます。

さて、小生、古希を迎え、益々意気軒高と言いたいところですが、完全アナログ人間としては、近年のカタカナとアルファベットが溢れるデジタル社会には、ほとんどついていけない状態です。

技工士会に入会して、40年を超えました。活動の中心となる学術と交流のうち、学術に関してはオンラインを活用した方法を取り入れて多くの会員が受講可能になるなど発展的な形で継続されています。かたや、交流事業の方は、コロナ禍もあるでしょうが、以前の様子を知るものとして、寂しさを感じます。交流事業の原点は、アナログにあると考えます。この二つの事業があつてこそ、会の継続・発展が望めると思います。

最近、地元の自治会活動に軸足を置いている為、技工士会の活動に参加する機会は減っています。若い世代の皆さんには、デジタルとアナログが融合された、活気溢れる活動を期待しています。

(小野一郎)



今年年男の会員にアンケートに答えていただきました。

質 問

- ① 2022年を振り返って
- ② 今、一番夢中になっていること
- ③ 今年はどんな年にしたいですか
- ④ 日技・秋齒技に期待すること



相馬 健さん
【中央支部】

① 2022年は技工においてとてもいい経験をさせてもらったので、このことを糧に2023年

も頑張りたいと思います。

② 夢中になっていることは仲間とのバレーボールです。

③ 今年も昨年同様に健康に気をつけて、公私共に充実した生活を送れるようにしたいです。

④ 自分の範囲では知り得ない諸先輩方の経験などを知ることができたら嬉しいです。



真坂 嘉徳さん
【本荘由利支部】

① 2022年もコロナ禍の一年でした。自然災害、事件や事故が多い世の中、なかなか期待の持

てる話題がありませんでしたが、いつも「来年の今頃は良くなっているといいな」と思いますがら過ごしてきたような気がします。

② 写真を撮るのが趣味で住んでいる街の景色や家族の写真を撮っています。今の時期は、色の少ない景色が広がっていますが、時々見える青空にカメラを向けています。

③ 今、対面で会うことが難しいですが、直接会って顔を見ながら話が出来るといいなと思います。あと、皆さんの健康を願います。

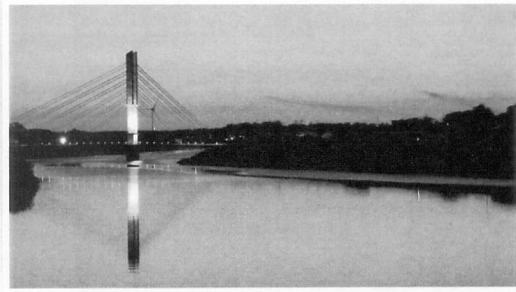
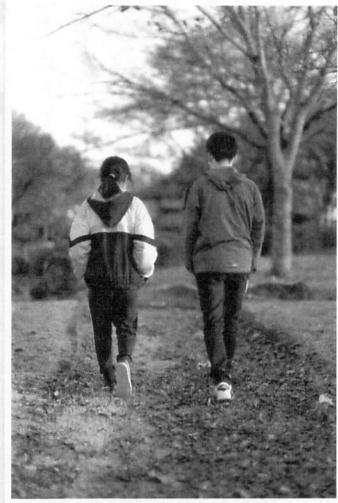
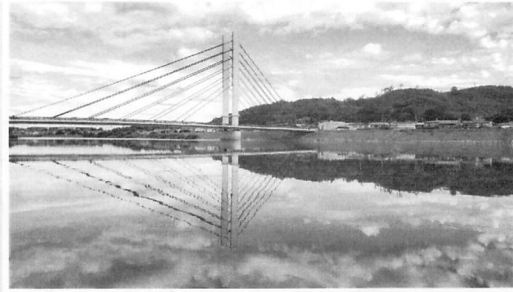
⑤ 日技・秋齒技に対してというよりも、今年も「来年の今頃は良くなっているといいな」と期待しながら、前向きに頑張りたいと思います。



「風に吹かれて ~フォトギャラリー~」

季節の風を感じながら、変化していく景色を撮っています。

- ◎撮影場所
由利本荘市
- ◎撮 影
真坂 嘉徳



会 員 動 向

◇ 新入会者

- ・渡邊 元さん【中央支部】
勤務先 遠藤歯科クリニック
令和4年4月入会
- ・川越 由寿さん【中央支部】
勤務先 旭北歯科医院
令和4年4月入会
- ・小浜 俊彦さん【中央支部】
勤務先 株式会社ニッチサービス
令和4年9月入会《新卒》

◇ 出 産

- ・寺島 伸太郎さん【中央支部】
お子さんの名前 渉太郎ちゃん
令和4年11月ご誕生

◇ お悔やみ

- ・岩澤 毅さん
【中央支部】令和4年10月死去

※会員・会員の妻が出産された場合、日技からもお祝い金がいただけます。
(一子につき2万円)
申請は事務局まで!
お忘れなく!!

事 務 局 よ り

- ☆勤務者から自営者になられた方
- ☆自営者の方で廃業された方
- ☆現住所、勤務先などが変更になった方
➔必ず事務局にご連絡ください。

(一社) 秋田県歯科技工士会 事務局

〒019-2411 大仙市協和境字境26番地
電話・FAX 018-892-2447
E-mail : akisigi@ceres.ocn.ne.jp
ホームページ : <http://akisigi.fem.jp/>
(HP担当: 県南支部 荒川大祐さん)

※ホームページに掲載してほしい情報がありましたら事務局へ連絡してください。

オンライン寺子屋 URL
<https://www.terakoya-rengo.com/akita>